

月 日 名前 _____

／100点

次の問題に答えましょう。（各10点）

1 日本近海で、数日ばかりで行う漁業を何とといいますか。

答え

2 遠くの海で、長い期間をかけて行う漁業を何とといいますか。

答え

3 海岸近くで、日帰りで行う漁業を何とといいますか。

答え

4 魚や貝を、いけすなどで大きくなるまで育てて出荷する漁業を何とといいますか。

答え

5 卵からかえした稚魚を海や川に放流し、大きくなってからとる漁業を何とといいますか。

答え

6 寒流と暖流がぶつかる、よい漁場になるところを何とといいますか。

答え

7 各国が設けた、200海里までの水域を何とといいますか。

答え

8 かきの養殖がさかんな県を1つ答えましょう。

答え

9 ほたての養殖がさかんな地域を1つ答えましょう。

答え

10 のりの養殖がさかんな、九州の海を何とといいますか。

答え

- 1 答え：沖合漁業
- 2 答え：遠洋漁業
- 3 答え：沿岸漁業
- 4 答え：養殖業
- 5 答え：栽培漁業
- 6 答え：潮目
- 7 答え：排他的経済水域
- 8 答え：（例）広島県・宮城県
- 9 答え：（例）北海道・青森県（陸奥湾）
- 10 答え：有明海

要点まとめ

- ・ 沿岸は「日帰り」、沖合は「数日」、遠洋は「何か月も」。きょりと日数で区別します。
- ・ 養殖業は「最後までいけすで育てる」、栽培漁業は「途中で海に放す」。

解法ポイント

- ・ 漁業の種類（沿岸・沖合・遠洋・養殖・栽培）を区別する。
- ・ 潮目は「寒流と暖流がぶつかる」ところ。
- ・ 養殖の産物と県をセットで覚える。